

# 厳冬期避難所展開・宿泊演習 2025 実施要領

日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター  
センター長 根本 昌宏

## 1. 開催趣旨

日本赤十字北海道看護大学は、寒冷期に災害が生じた際の対応策を実践的に明らかにすることを目的に研究を推進しています。冬期の停電を伴う災害は既存の暖房機器を使用不能とし、避難所として指定されている場所においても低温により命を落とす恐れがあります。COVID-19 による 2 年の中止を経て再開した 2023 年 1 月の 11 回目の厳冬期災害演習 2023 は、感染症対策を施した中でマイナス 17℃の環境における様々な検証を実施し、多くの成果とともに課題を見出しました。

2024 年 1 月 1 日に発災した令和 6 年能登半島地震は厳冬期の避難所対策の難しさを浮き彫りにしました。本学も能登地域の皆さまへの支援を進めてきたところです。今年度は、発災当初からプライバシーを保持する“寒冷期の”避難所展開について検証を進めます。厳冬期避難所展開・宿泊演習 2025（通称：厳冬期災害演習 2025）は、下記に掲げる項目について 2 日間にわたり検証を行います。なお今回より、すべてのプログラム（演習）を修了した参加者に修了証を交付いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 2. 開催要領

### 1) 日時・場所

2025 年 1 月 18 日（土）13 時 00 分 ～ 1 月 19 日（日）12 時 00 分

定員：要事前登録 140 名（定員となり次第締め切り）

参加費：1,000 円（食料費、消耗品費ならびに保険代として）当日受付支払

報道・取材の方は無料ですが食事が必要な場合は有料です

事前登録期限：2024 年 12 月 27 日（定員になり次第締め切らせて頂きます）

日本赤十字北海道看護大学 講堂、体育館、食堂、屋外

（北見市曙町 664 番地 1 電話 0157-66-3311）

### 2) 主催：日本赤十字北海道看護大学災害対策教育センター

共催：日本赤十字社北海道支部、日本赤十字看護大学附属災害救護研究所

後援：国土交通省北海道開発局網走開発建設部、北海道オホーツク総合振興局、北見市

避難所・避難生活学会、日本防災協会、日本難燃材料研究会

### 3) 厳冬期災害演習 2025 の検証内容

①低体温症を予防するための新規施策・評価（内容については事前公表いたしません）

新規項目を多数取り入れ、これまでとは違う避難所の景色を創り出します

②PHEV を使用したダクトヒーター暖房による温熱ならびに換気性能評価

③避難所環境の火災防止を踏まえた防災性を高めるための取り組み

④感染症対策に留意した避難所検証

⑤温熱を確保した衛生系機材の検証

⑥避難所環境指標の見える化の検証

⑦極寒冷下の車中泊体験演習

4) 参加者

災害保健・医療・福祉関係者、赤十字関係者、防災行政担当者、大学関係者、指定した資機材関係業者、その他本学が特に必要と認めた者のみとします。一般の方の参加はできません。

すべてのプログラムを修了された参加者に厳冬期災害演習 2025 修了証明書を交付いたします。

5) 本演習の公表

本演習は成果を広く防災関係者ならびに寒冷地域に暮らす市民に周知するため、新聞、テレビ等すべてのメディアに公開・公表します。

6) 問い合わせ先

本演習に関するお問い合わせ先

日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター

電話 0157 (66) 3311 FAX 0157 (61) 3125

メール bousai@rchokkaido-cn.ac.jp